令和8年度 画像保存セミナー

日本写真学会では、次世代に伝えるべき価値ある写真画像、動画、およびその他の記録物の確実な保存を目指し、そのための技術の共有と知識の普及を目的に、１９８４年から画像保存セミナーを毎年開催しております。今年で４３回目を迎えますが、近年ではデジタル技術の進展に伴い、記録物もデジタル化が進んでいます。その一方で、物体としての画像、映像の保存の重要性もますます高まっており、セミナーアンケートでは、両者に関する技術共有が要望されています。

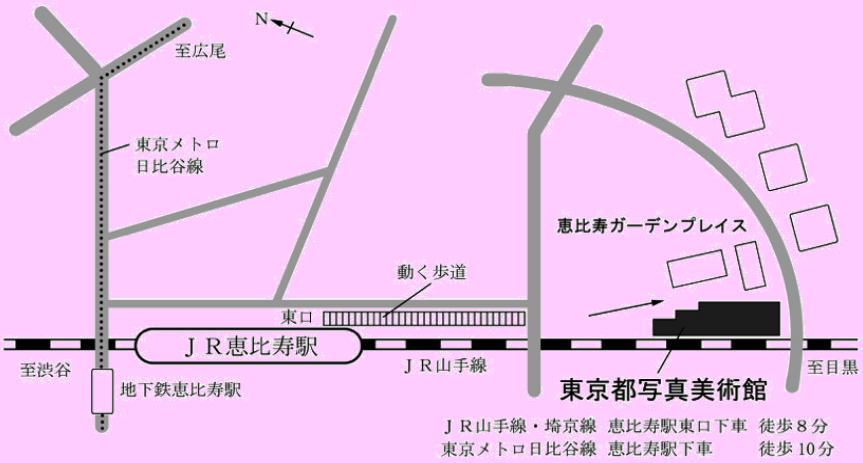
今回のセミナーでは、物体としての「モノ」の保存という観点からは、「鶏卵紙（albumen print）―歴史と研究そして制作方法―」、「銀塩カラー印画紙の画像保存性改良の歴史」、「文化財としての次の100年へ：フィルム保存を見直す新たな視点」、また、デジタル分野では、「寸法精度を備えた非接触式デジタルアーカイブスキャナの開発と活用事例」、「長期保存を支える記録媒体の現状と展望」、「CIPA（カメラ映像機器工業会）における写真画像の真正性確保の取り組み」、合わせて6講演を予定しております。このような多岐にわたる内容が、ご参加の皆様にとって参考あるいは有益な情報となることを願っております。

例年通りセミナー終了後、講演者と参加者が自由に情報や意見の交換をしていただける情報交換会を予定しております。画像保存に関心のある方、関連分野の方々のご参加を賜りたくご案内申し上げます。

日時：2026年 11 月 27 日 (金) 10 時 20分 ～17 時50分　＜10：00受付開始＞

場所：東京都写真美術館1階ホール

東京都目黒区三田１－１３－３　恵比寿ガーデンプレイス内



主催　一般社団法人日本写真学会

協　賛：日本写真芸術学会／公益財団法人日本博物館協会／公益社団法人日本写真家協会
一般社団法人日本オプトメカトロニクス協会／一般社団法人画像電子学会
一般社団法人日本印刷学会／一般社団法人日本画像学会
アート・ドキュメンテーション学会

協　力：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館

後　援：一般社団法人 文化財保存修復学会／日本アーカイブズ学会

セミナープログラム

10:20　**開会挨拶　セミナー実行委員長**

10:30　**講演１．鶏卵紙（albumen print）―歴史と研究そして制作方法―**
　｜　**日本大学芸術学部写真学科　田中 里実**
11:30

鶏卵紙は１９世紀に誕生し、初期の写真用工業製品としても製造・販売され、１９世紀においては写真用印画紙の主流となっている。その歴史とこれまでの研究、そして現代写真表現として活用するための制作方法を、ネガ制作を含めた様々な角度から解説する。

11:30　**講演２．銀塩カラー印画紙の画像保存性改良の歴史**
　｜　**フジフイルムスクエア　梅本 眞**
12:30

銀塩カラー印画紙は、主に階調・色再現・迅速処理性・画像保存性などの観点で開発が行われた。本セミナーでは、1980～90年代に大きな進歩を遂げた画像保存性に関連する技術開発の歴史と画像堅牢性の変遷について解説する。

－ 休憩（60 分）－

13:30　**講演３．　寸法精度を備えた非接触式デジタルアーカイブスキャナの開発と活用事例**
　｜　**アイメジャー株式会社　一ノ瀬 修一**
14:30

デジタルアーカイブに適した画像の特性として、光学解像度、階調・色再現に加えて、寸法精度が挙げられる。一般的には、ものさしを資料と共に写し込むことで精度を担保する。非接触撮影にも関わらず高い寸法精度を確保できるオルソスキャナの特長を解説する。

14:30　**講演４．長期保存を支える記録媒体の現状と展望**
　｜　**光産業技術振興協会・VerbatimJapan株式会社 宮長 貴旨**
15:30　**JEITAテープストレージ専門委員会・株式会社ユニテックス 対間 浩一**

貴重な画像やデジタルデータなどのアーカイブ用途に用いられる保存媒体の中でも、長期保存に適したアーカイブ用光ディスクとＬＴＯを中心に、その技術的特長、市場動向、適用分野、保存性および運用面などについて解説する。

－ 休憩（15 分）－

15:45　**講演５．文化財としての次の100年へ：フィルム保存を見直す新たな視点**
　｜　**株式会社足柄製作所　藤田 聖矢**
16:45

後世に画像を1日でも長く残すために、フィルムの保存方法、劣化メカニズムをもう一度見直した。過去の研究を整理し、弊社の科学的分析から明らかとなった新規知見と合わせて発表する。

16:45　**講演６．ＣＩＰＡ（カメラ映像機器工業会）における写真画像の真正性確保の取り組み**
　｜　**ＯＭデジタルソリューションズ株式会社　吉田 英明**
17:45

CIPAにおける写真画像の真正性担保への取組みについて、ファイルフォーマットExifの「オリジナル保持用画像」と、外部団体C2PAの改竄検知手法との組合せにより、後段の加工に影響されない撮影時の原画像情報を記録保持する方法を中心に紹介する。

17:45　**閉会挨拶　日本写真学会会長**

＊各講演時間には質疑・応答の時間を含みます。なお、主催者以外の写真・ビデオの撮影、録音は講演者および他の参加者の迷惑となるだけでなく、著作権の問題を含みますので禁止させていただきます。

参加申し込みについて

セミナー参加費（講演要旨集代を含む）

日本写真学会および協賛・協力・後援学協会々員.....**6,000 円**
非会員.....**8,000 円**
学　生.....**2,000 円**

□非会員の方：参加申込前に入会手続きを取って頂ければ，会員価格での参加が可能となります。
（入会申込はこちらから⇒　https://forms.gle/nYmhzmgFxZEsWaoG8　）
□日本写真学会の賛助会員所属で非個人会員の方の取り扱いに関しては、賛助会費の口数に応じた人数枠に対して申し込み順に会員扱いとなります。枠を超えた分は非会員扱いとなります。会員枠が残っているかどうかにつきましては、ご面倒でも事務局にお問い合わせ下さい。）

定　員　　**180 名**（定員になり次第締切りますのでお早めにお申し込み下さい）

申込締切　**2026 年 11 月 20 日**（金）
なお、締切を過ぎても定員を満たしていない場合は申込の受付延長を行います。

参加申込と参加費支払方法

□参加希望の方は、イベントサブドメイン **https://www.spij.jp/category/event/others/**
の「令和8年度画像保存セミナー」ページの【参加申込】該当する参加区分を選択して参加登録（Google Forms）に記入・送信した後に、「お支払い手続きへ」お進み、そちらから参加費をお支払いください。

□直接申込の方はこちらの参加申込フォーム ➡ URL：**https://forms.gle/dNfWmsJ46mmHCaBb7**

申込QRｺｰﾄﾞはこちらから➡

□支払方法は、クレジットカード、Apple Pay または Google Pay が利用できます。

なお、一旦振り込まれた参加費の返却は致しかねますので、ご都合が悪くなった場合には代理の方の参加等でご対処をお願い申し上げます。

情報交換会

講演者と参加者の自由な討論の場、および参加者相互の情報交換や交流を深める場として、 セミナー終了後に下記のとおり情報交換会を開きます。参加ご希望の方は、参加申込フォームの情報交換会への参加（Google Forms）に記入・送信した後に、「お支払い手続きへ」お進み、そちらから情報交換会会費をお支払いください。

日時：当日 11 月27 日 18 時 15 分より
場所：The ＴＥＳＴ ＫＩＴＣＨＥＮ（恵比寿ガーデンプレイス グラススクエアＢ１Ｆ）
会費：5,000 円

□セミナー参加申込時に情報交換会不参加とされた方で、情報交換会に参加希望の方は、11月20日（金）までに info@spij.jp　の方に連絡をお願いします。

連絡先

一般社団法人 日本写真学会事務局 画像保存セミナー係
〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5 東京工芸大学内
E-mail：info@spij.jp　　Tel：03-3373-0724　　Fax：03-3299-5887

日本写真学会にご入会下さい

この機会に、会員でない皆様には当学会に入会されることをおすすめします。
セミナー当日、受付に入会申込書がありますので、ご記入の上お申し込み下さい。
また、学会 HP（下記 URL）からも申し込めます。

年会費：　正会員 8,500 円　　学生 3,000 円

一般社団法人 日本写真学会 事務局
〒164-8678 東京都中野区本町２－９－５
東京工芸大学内
Tel. 03-3373-0724　Fax. 03-3299-5887
入会申込URL　https://forms.gle/nYmhzmgFxZEsWaoG8

このセミナーは、下記の組織で企画されました。

一般社団法人　日本写真学会
会　長：中野 寧　　副会長：加藤 隆志　山田 勝実

委員長：綿引 雅俊（インフォマージュ）
委員 ：　岩本 康平（日本写真学会）
大関 勝久（名古屋大学）
大林 賢太郎（京都芸術大学）
酒井 秀一（富士フイルム）
白岩 洋子（白岩修復工房）
山口 孝子（東京都写真美術館）
吉田 英明（OMデジタルソリューションズ）

（五十音順）

要旨集デザイン：岩崎 仁 （日本写真学会）
事務局：山岸 治 （日本写真学会）